

理学部 情報科学科（2011年度以前の入学者）

教育研究上の目的

情報科学科は、21世紀の知識情報社会を担う技術者に求められる自由で持続的な発想と行動を実現するために、情報科学の基礎を確実に修得し、新しい価値を産み出す応用力を身に付けた人材の育成を目的とする。

教育目標

本学の教育目標及び本学科の教育研究上の目的等を踏まえ、理学部情報科学科では情報科学を基軸として多角的な視点で問題解決を図ることができる人材の育成を教育の目標としています。

情報技術の進歩や変化は極めて急速であり、世界に存在し認識されるものはすべて情報処理の対象となっています。また、多様化する社会の中では情報の分野でも人と環境に配慮することが求められます。これからの情報技術者には専門知識と技術のみならず、固定観念にとらわれない柔軟な発想と行動で局面を切り拓くための総合的な問題対応力が求められています。

さらに、21世紀の知識情報社会で主導的かつ創造的に仕事を遂行し続けていくためには生涯にわたる持続的な学習が必須であり、そのための土台として教養や基礎学力が極めて重要です。これらを身につけることで社会に出てからも状況変化に応じた能力向上を自ら行い、様々な場面で多彩な形で社会に貢献することができるようになります。

本学科では、講義型科目や演習型科目などが適切に配置されたカリキュラムを通して、そのような能力を養うことを教育目標として定めます。

ディプロマ・ポリシー

（学位授与の方針）

本学科の教育課程において卒業要件単位を修得した者は、次に掲げる教養、知識、能力を身につけていると判断され、学士（理学）の学位が授与されます。

1. 人間、社会、自然に対する広い視野と、情報に対する多元的な素養
2. 社会人の基礎能力としてのコミュニケーション能力
3. 知識情報社会に遍在する様々な問題を情報科学あるいは数理・物理学の視点から発見し解決するための能力、すなわち、問題を分析・統合するための原理的思考力や論理的思考力、その結果に基づいての問題の本質を解りやすく整理し提示する表現力、示された問題に対する具体的な解の設計力や実現力

カリキュラム・ポリシー

（教育課程編成・実施の方針）

本学科では、情報コースと数理・物理コースの2コースを設け、学生の多様な素質や関心に柔軟に応じられる教育課程を用意しています。いずれも基礎と応用を共に重視し、これからの知識情報社会を担う技術者として生涯にわたって通用する基礎を与えるために、以下のような方針に基づいて教育課程を編成しています。

1. 社会人の素養としての人間や社会に対する理解力、あるいは他者とのコミュニケーション能力を獲得するために、人文・社会系の科目、外国語科目及び「FYS（ファースト・イヤー・セミナー）」やキャリア形成科目等を基礎科目として開講します。また、理学の基礎を確実にするために初年次に入門科目を開講しています。他学部・他学科の科目を選択履修することもできます。そのような学びによって情報についての多元的な視点を獲得することができます。
2. 専門教育はコースごとの選択必修科目を体系的に配置することにより行います。情報コースではコンピュータ科学の基礎理論から先端応用まで広く学び、数理・物理コースでは数学と物理学の基礎とその情報通信技術への広範な応用について学びます。情報科学の基礎をなす科目はコースに共通の必修科目としています。さらに他学科の科目を選択科目群に配置することによって専門知識と理学の広い視野を獲得できるように教育課程を構成しています。
3. 手を動かすことや原理的に考えることを重視して、演習・実験科目の充実や少人数でのゼミナールや卒業研究にいたるまで丁寧な教育を実現する教育課程を用意しています。